

令和4年第11回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和4年10月19日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 三尾 和樹 田島 雅子 橋本 あみる

事務職員 三宅事務局長・氷室教育次長（兼）学校教育課長・河合事務局次長
（兼）教育企画課長・松井文化スポーツ部長・伊藤文化スポーツ部
次長（兼）文化振興課長（兼）市史編さん室長・梶屋教育研修所
長・伊藤施設計画推進室長・安江幼児教育課長・青木発達支援セン
ターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・太田阿
木高等学校事務長・早川生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター
所長・青木図書館長（兼）蛭川済美図書館長・小池中央公民館長・
宮嶋鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第29号	中津川市認定こども園の設置等に関する条例施行規則の一部改正について	承 認
第2	議第30号	中津川市保育所の設置等に関する条例施行規則の一部改正について	承 認

■教育長 本日は小栗委員が欠席ですが、3名の委員の出席を確認しましたので、ただいまから令和4年第11回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議といたします。

続きまして、日程第3、教育長報告を行います。前回以降に出席した主な行事を中心に報告します。

9月21日は中体連全国大会の入賞報告に出席しました。入賞した生徒は苗木中3年生の市原さんです。陸上女子200mで第3位に入る快挙でした。2位との差0.02秒、1位との差0.04秒の僅差でした。

22日は市議会本会議に、28日は市議会予算決算委員会に出席しました。29日は県美術館開館40周年記念前田青邨展内覧会に行ってきました。作品のサイズや画題の多様性、緻密な描写等々に改めて感嘆し、その後は、様々な機会に出会う皆さんに鑑賞することをお勧めしています。委員の皆さんもご覧になるとよいと思います。最終日は11月13日です。

10月に入り、3日は市議会9月定例会最終日に出席しました。4日は7月末に就任された南木曾町の向井教育長にご訪問いただきました。5日は臨時教育委員会協議会、6日は校長研修会に出席しました。また今月1日に就任された瑞浪市の新教育長、伊藤慶和さんにご訪問いただきました。

12日は東濃地区幼稚園教育研究発表会が南幼稚園で開催され、出席いたしました。田島委員、小栗委員にもご臨席いただきました。ありがとうございました。

教育長訪問は、30日に一色保育園、中津川幼稚園、4日に落合保育園、神坂幼稚園、7日に坂本中学校、11日に阿木保育園、14日に東小学校、17日に苗木小中学校、昨日は蛭川保育園で行いました。

続いて今後の主な行事です。

初めに教育長訪問ですが、小中学校の教育長訪問は明日の付知中学校が最後になります。幼稚園保育園については、21日に坂本こども園、24日に苗木保育園、31日に付知保育園、11月1日に南幼稚園、西幼稚園を訪問し、7日の中津川保育園が最終になります。なお、阿木高等学校は11月28日に訪問する予定です。

その他では、27日に東濃地区教育推進協議会の学級経営に係る研究発表会に、28日は、東濃地区のへき地複式教育研究大会に出席します。

11月に入り、2日は本年度第2回目の教育支援委員会に、4日はつくしんぼの移動教育委員会に、8日は泉中学校、翌9日は阿木中学校の研究発表会に出席します。10日はどんぐりの移動教育委員会、11日は、岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会に、14日は東濃地区の教育長会に出席します。

私からは以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。

三宅事務局長。

■事務局長 それでは、前回以降の主な出席行事等について、報告します。

初めに、10月5日には教育委員会臨時協議会を急遽開催させていただき、ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。お諮りした幼児教育・保育施設適正配置計画の第二期計画につきましては、今後手順を踏みながら、令和5年4月の策定を目指していきたいと考えています。

新型コロナウイルス関連につきましては、長かった第7波も終わりを迎えた状況で、第8波を迎えないように、また、少しでも小さく抑えるように、引き続き可能な感染対策を講じていきたいと考えています。コロナ関連の会議は、9月22日に県・市の新型コロナウイルス対策本部会議が開催されました。

教育長訪問につきましては、9月30日に一色保育園と中津川幼稚園、10月4日に落合保育園と神坂幼稚園、7日に坂本中学校、11日に阿木保育園、14日に東小学校、17日に苗木小学校と苗木中学校、18日に蛭川保育園に出席しました。

9月の市議会につきましては、9月22日に本会議、28日に予算決算委員会、これは令和3年度の決算認定、10月3日に本会議最終日が開催されました。

その他の行事です。9月22日に幼児教育・保育施設運営協議会、27日に福岡地区からの要望書の受領、10月3日に四役・部長会、6日に校長会、7日に東濃桧振興会からの木の日の要望書の受領、安全安心まちづくり市民大会、11日に一般社団法人日本の森林のみらい様から木育の冊子の寄附の贈呈式、12日に南幼稚園の研究発表会、19日、本日の午前にセンターロータリークラブ様からの寄附の受領に出席しました。

今後の予定です。教育長訪問につきましては、10月20日に付知中学校、21日に坂本こども園、24日に苗木保育園、31日に付知保育園、11月1日に南幼稚園と西幼稚園、7日に中津川保育園が予定されています。また、移動教育委員会につきましては、11月4日につくしんぼ、10日にどんぐりが予定されています。

その他の行事です。10月20日に福岡県岡垣町議会が視察にみえます。発達支援センターを視察されたいということでその対応をします。その後、四役・部長会。11月8日に県下都市事務局長会議、9日に阿木中の研究発表会、11日に選奨生選考委員会に出席予定です。

以上です。

■教育長 続いて文化スポーツ部からお願いします。

松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 9月28日、今年の国民体育大会及び全国障害者スポーツ大

会に出場される3名の激励会が開催されました。内容は、国体カヌー競技参加する杉の子幼稚園職員の加藤哲平さん、卓球競技には地元の中京学院大学3年の堀川敦弘さん、全国障害者大会の卓球競技に参加する伊藤和真さんの3名の激励会を開催しました。結果は、カヌーの加藤選手が3位に入賞されています。

9月29日は教育長から県美術館の前田青邨展のご報告がありましたので省略します。

30日、レスリング競技の全国大会で入賞された選手の報告会が行われました。まず、全国中学生レスリング選手権大会で3位に入賞された第二中学校2年生の小川凜苑さん、全国少年少女レスリング選手権大会で2位に入賞した西小学校5年生の小川璃久さん、同じ大会で3位に入賞した東小学校3年生の辻村亮輔さんと、インターハイのレスリング競技で2位に入賞された中京高等学校1年の小川凜佳さんが喜びやくやしさを、来年度の抱負など語ってくれました。

10月2日、総合文化祭のステージ部門2日目に13団体が出演されました。このほかに、展示部門、生活文化部門、文芸部門の4つで文化祭が構成されています。

同日、加藤拓三和太鼓コンサートが常盤座で開催されました。渡米前の国内最後のコンサートということもあり、全国から多くの観客が押し寄せ、アメリカへ旅立つ加藤さん家族に対する大きな拍手やエールが送られていました。

4日、遠山家伝来資料調査委員会が開催されました。文化庁の補助を受け遠山家にまつわる貴重な古文書などを整理、調査、目録データを作成するため平成30年度から令和6年にわたり継続的に取り組んでいるものです。

8日、若井敦子氏の「スポーツとまちづくり」についての講演会が開催されました。この講演会は総合型スポーツクラブ・中京学院大学クラブが主催し、世界空手道選手権4連覇の裏に隠された苦悩やスポーツの魅力について熱く話されていました。

今後の予定です。10月29日、第1回岐阜県人会世界大会が岐阜市で開催されます。「岐阜愛を繋げよう！ 世界から岐阜へ岐阜から世界へ」をテーマに世界各国の岐阜県人が集います。姉妹都市のレジストロ市関係もあり参加させていただきます。

11月1日、令和4年度前期の子ども金メダル授与式を開催します。

3日、第25回岐阜県文楽・能大会なかつ川2022が東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホールで、県内4保存会が「未来におくる宝物・郷土の芸能、心と技」と題して披露されます。お手元にパンフレットをお配りしていますので、ご覧いただければありがたいです。

5日、第1回中山道馬籠宿夜明け前ウォーキングが行われます。こちらもパンフ

レットをお配りさせていただきました。周りの方にも声を掛けていただけるとありがたいです。同日、中津川市子育て親育ちシンポジウムが「守ろう！子どもたちの笑顔」をテーマに開催されます。お手元にパンフレットをお配りしていますので、ご参加いただければありがたいです。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等がありましたらお願いします。

ご質問等がないようでございますので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1、議第29号「中津川市認定こども園の設置等に関する条例施行規則の一部改正について」、提案説明をお願いします。

安江幼児教育課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 この件については承認します。

一つ聞きたいことがあります。こども園にするということで保護者の方たちにお話ししながら進めているのですが、中津川市以外の周辺地域のこども園の情報を耳にした保護者の方が不安材料について話をしていると聞いたことがあります。国から「こども園はこういうもの」というのはあると思いますが、中津川市では進め方が違うところもあると思います。中津川市の安心できる点や他地域と違ういいところを教えてくださいませんか。

■教育長 安江幼児教育課長。

■幼児教育課長 他地域とここが違うという点をお答えするのは難しいですが、例えば幼稚園コースの子どもの帰る時間は、恵那市は14時、中津川市は幼稚園も併せて15時にしています。そこの地域で大切にしてきた保育、地域とのつながりなどは、こども園になっても同じなので、こども園という名前になっても地域の中で育ててもらった園ということは継続していく点が良いところだと思っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 中津川市の手厚い進め方をありがたく思っています。お母さん方、親御さん方のネットワークの中で色々な情報を受け取っていて、それが不安につながっていることがたくさんあると思います。丁寧な説明をして、子どもたちにいい環

境を作っていただけるようにお願いします。

■教育長 ほかにご意見、ご質問はございませんか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第29号については、承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第29号「中津川市認定こども園の設置等に関する条例施行規則の一部改正について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第30号「中津川市保育所の設置等に関する条例施行規則の一部改正について」、提案説明をお願いします。

安江幼児教育課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 これに関しても承認します。

先生1人について、受け持つ子どもの人数は決まっていることですね。それが何年前に決まったのか分からないのですが、例えば、現在少人数のクラスがとてたくさんあります。その少人数のクラスを長年受け持っている先生が、統合によってたくさん的人数を受け持たなければならないことがありますよね。そのような場合、先生方が対応できるのか心配です。

また、最近の子どもたちは、手のかかる子が多くなったと思います。昔は兄弟が多ければ、自分に手がかからないので自分でやっていたことも、今は兄弟の数も少ないので、親がかりでやったり、親が手を差し伸べている子どもたちが多くなっていくような気がします。そうすると、従来の定員が多すぎると感じますので、先生の数を増やして、もう少し細やかに見なければならぬ子どもたちになっているのではないかと思います。いかがですか。

■教育長 安江幼児教育課長。

■幼児教育課長 現在、4歳児クラス以上は30人に1人の先生、3歳児クラスは20人で1人、1歳児2歳児は6人に1人、0歳児は3人に先生1人という基準になっています。この基準は50年ぐらい変わっていないと聞いています。正確な数

字は分からないのでまた調べさせていただきますが、国の基準は変わってないと聞いています。中津川市はここまで定員がいる園は少ないです。少人数でやっている園も多く、先生がいきなり大人数を受け持つこともあると思います。ただ、適正配置計画の中で園が統合されて保育士の数が減るわけではなく、この保育士の中でやっていくという計画ですので、支援の必要な子の手厚い保育も、先生の数を変えることなくできると思っています。また、それに合わせて先生の質の向上にも力を入れていく計画になっています。いきなり大勢を1人でということには今の段階ではなりません。

■教育長 田島委員。

■田島委員 子どもの様子がこの頃変わってきていると思います。構われてしまっている子どもたちがたくさん出てきていると思うのですが、どう思っていらっしゃいますか。

■教育長 安江幼児教育課長。

■幼児教育課長 構われているということは、大事にされているということですか。

■田島委員 何でもやってもらってしまうということです。

■幼児教育課長 確かに、教育長訪問の時に園でお話をする、主体的にということが少ないような気がするとおっしゃっています。やはり大人が先にやってしまうことがもしかしたら多いのかと思いますので、園ではそういうところも考えて保育をやっていけるようにしていけるといいと思っています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 自分で何もしない子が大人数になってしまったときの不安もあると思いますし、反対に、自分で考える子というのは幼児のときから培っていかないといけないと思います。構われ慣れている子をそこにもっていくことが大事だと思いますのでよろしくお願いします。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 定員のこと、加子母保育園の定員は4ページ、改正前で、110人となっていますが、加子母こども園になったとき、2ページ、110人だったのが66人に減っています。こども園になったら増えるように思うのですが、なぜ定員が減っているのか教えてください。

■教育長 安江幼児教育課長。

■幼児教育課長 加子母保育園の110人は、施設にどれだけ入れるかという定員です。こども園になる場合は、施設に入れる人数ではなく、保育教員の配置基準、新園児、在園児の見込みを基に出して算定した、定員が乖離しない定数が基準になっています。施設の定員ではなく、実際に利用する定員ということです。66人と

いう中途半端な数字は、2歳児以上が6人で1人の先生で、加子母は未満児が2歳児だけです。3歳以上が60人定員で、全体が66人という定員です。

■教育長 ほかにご質問等ございませんか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第30号については、承認ということよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第30号「中津川市保育所の設置等に関する条例施行規則の一部改正について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。それでは、事務局から次回の開催日程について、報告してください。

河合事務局次長。

■事務局次長 次回の開催日は令和4年11月16日水曜日13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 それでは、次回は、令和4年11月16日水曜日13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて、定例会を開催いたします。

以上で、令和4年第11回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

[閉 会 (午後2時7分)]